



今、CLT(直交集成板)が注目されています。

CLT(直交集成板)は、木材のひき板を繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着したパネルで、日本農林規格(JAS)に規定されています。CLTを用いた工法は、工期の短縮化や断熱性が高く省エネ効果が期待できる、鉄筋コンクリート造などに比べ自重が軽いため建築物の耐震性能も向上するなどのメリットがあるほか、木材の消費拡大への寄与が期待されています。

従来、中規模以上の建築物は、鉄筋コンクリート造や鉄骨造で建設されることが一般的でしたが、平成28年3月にCLTを用いた建築物の一般的な設計法が国土交通省の告示として示されたことにより、複雑な手続き等を経ずに木造による中規模建築物の建設が可能となりました。

topic 1 木造建築関連技術者向け「CLT技術講習会」の案内と申込について

この講習会は、木造建築の可能性を広げる最新の技術として注目されているCLTについて、第一人者をお招きし、特徴や施工例など最新の動向が聴講できる貴重な機会です。是非、ご受講ください。

○第1回講習：室内講義

【開催日時】平成29年2月14日(火) 10:30～15:40

【会場】大隅会場：高山やぶさめ館 多目的ホール

【定員】50名

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入のうえ、FAXでお申し込みください。

【申込締切】平成29年2月9日(木)まで延長。

※ただし、定員になり次第、終了します。

【受講料】無料

【問合せ先】鹿児島県木造住宅推進協議会事務局
(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター
電話 099-224-4543
FAX 099-226-3963

【第1回講習 室内講義カリキュラム】

あいさつ	10:30～10:35	鹿児島県環境林務部 かごしま材振興課
【講演①】 CLTの特徴と性能	10:35～11:20 (45分)	村田 忠 (山佐木材(株) 取締役 CLT部長)
【講演②】 CLTを活用した建築事例	11:20～12:00 (40分)	村田 忠 (山佐木材(株) 取締役 CLT部長)
休憩	12:00～13:00 (60分)	
【講演③】 国土交通省告示の解説	13:00～14:00 (60分)	五十田 博 (京大大学生存権 研究所 教授)
休憩	14:00～14:10 (10分)	
【講演④】 CLTを活用した建築設計手法	14:10～15:40 (90分)	五十田 博 (京大大学生存権 研究所 教授)

※なお、平成29年2月13日(月)開催予定の室内講義(鹿児島会場)は、定員を超えました。たくさんの申込みありがとうございました。

topic 2 「かごしまCLTシンポジウム～新たな地材地建の取り組み～」の案内と申込について

このシンポジウムでは、これまで本県が取り組んできた「地材地建」(県内で育成(製造)・加工された木材等の建材を使って、県内の工務店等が木造の建築物を建設すること)を踏まえ、木造建築の魅力やCLTがもたらす木造建築の可能性について、それぞれの立場から語り合ってください。

木造建築に興味がある方、集合住宅などを木造でつくりたいと考えている方、新しい技術に興味がある技術者の方など、是非ご参加ください。

【開催日時】平成29年3月4日(土) 13:30～16:30

【会場】マリンパレスかごしま
鹿児島市与次郎2丁目8番8号

【定員】150名

【受講料】無料

【申込方法】申込書に氏名等を記入の上、FAXでお申し込みいただくか、問合せ先まで電話でお申し込みください。

【申込締切】平成29年2月28日(火)

※問合せ先は、Topic1と同じ

【カリキュラム】

あいさつ	13:30～(5分)	鹿児島県環境林務部
【基調講演①】 森林資源活用の意義・必要性	13:35～14:20 (45分)	有馬 孝禮 (東京大学名誉教授)
【基調講演②】 建築へのCLT活用の可能性	14:20～15:05 (45分)	武松 幸治 (建築家、E.P.A環境変換 装置建築研究所 代表)
休憩	15:05～15:15 (10分)	
【パネルディスカッション】 木造建築の魅力とCLTの可能性を語る	15:15～16:30 (75分)	
コーディネーター ・有馬 孝禮(東京大学名誉教授)		
パネリスト ・武松 幸治(建築家、E.P.A環境変換装置建築研究所代表) ・渋沢 龍也(国立研究開発法人森林総合研究所複合材料研究領域複合化研究室室長) ・佐々木 幸久(山佐産業(株)代表取締役) ・加治木 百年((株)センチュリーハウス代表取締役)		



エコ住宅への建替えに対する支援 住宅ストック循環支援事業



一定の省エネ性能を有する住宅（エコ住宅）の建築（建替え）に対して補助します。
耐震性のない住宅を除去することが条件です。

□ エコ住宅の満たすべき省エネ性能と補助額の関係

(1) 非木造住宅・・・トップランナー基準以上

省エネ性能レベル (各欄のいずれか)	一次エネルギー消費量等級 5 トップランナー基準 BELS☆☆☆	BELS☆☆☆☆	BELS☆☆☆☆☆
その他性能	BELS☆☆☆	BELS☆☆☆☆	BELS☆☆☆☆☆
下記以外	30万円/戸	40万円/戸	50万円/戸
認定長期優良住宅	40万円/戸	50万円/戸	50万円/戸

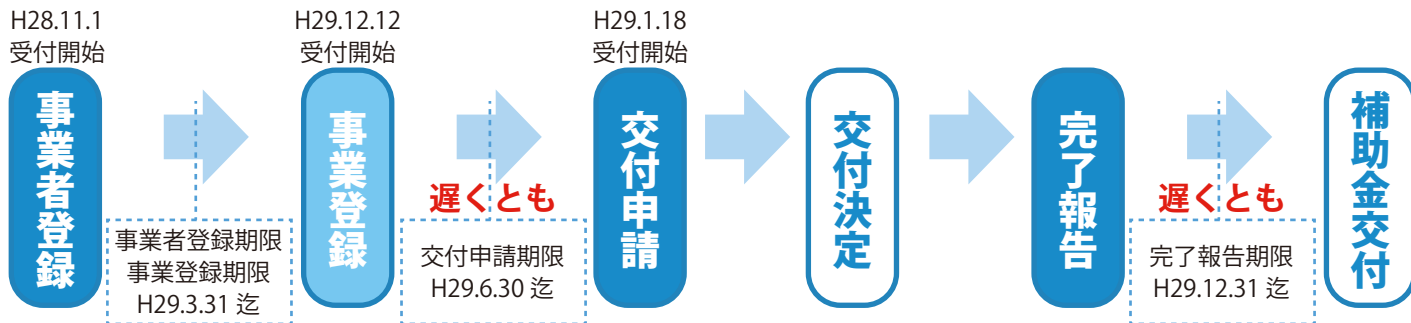
(2) 木造住宅・・・省エネ基準以上

省エネ性能レベル (各欄のいずれか)	一次エネルギー消費量等級 4 断熱性能等級 4 BELS☆☆	一次エネルギー消費量等級 5 トップランナー基準 BELS☆☆☆	BELS☆☆☆☆ BELS☆☆☆☆☆
その他性能	BELS☆☆	BELS☆☆☆	BELS☆☆☆☆ BELS☆☆☆☆☆
下記以外	30万円/戸	40万円/戸	50万円/戸
認定長期優良住宅	40万円/戸	50万円/戸	50万円/戸

※ 1戸あたりの補助限度額は50万円です。



□ 申請手続きの流れ



[お問い合わせ]：住宅ストック循環支援事業事務局 TEL 0570-069-888 <http://stock-jutaku.jp>

当住宅センターは BELS(住宅) の評価業務を行っております

制度普及キャンペーン中 (期間中 50～60%割引)

BELS の制度普及を図るため、現在下記のとおり戸建住宅における BELS 評価手数料の割引をいたします。

戸建住宅	一般	確認併願※1	性能評価等併願※2
通常	30,000円	25,000円	10,000円
キャンペーン料金	15,000円	10,000円	5,000円

- ※1. 確認併願：当センターに建築確認申請と併願する場合の料金です。
- ※2. 性能評価等併願：当機関に設計性能評価、低炭素認定技術的審査、長期優良住宅認定技術的審査、性能向上性能向上計画認定技術的審査又は、基準適合認定審査のいずれかと併願する場合の料金です。

[お問い合わせ]：住宅審査課 TEL 099-224-4548